

学校だより  
平成28年  
1月19日号

# はるにれ

海老名市立  
有馬小学校  
校長 宮原謙二

## 成就の年 2016 丙申(ひのえさる)

新年あけましておめでとうございます。

年も改まり、2016年がスタートしました。今年の干支は「丙申」であり、これまでの頑張りが形になっていく年になるということです。

「丙申」の2つの漢字には、意味があります。「丙」は、明らかという意味があります。また、甲乙丙と十干の中では3番目。十干は樹木の生長に例えられますが、「丙」は形が明らかになってくる頃という意味があります。「申」は、果実が成熟して、固まっていく状態を表しています。つまり、2016年という年は、「頑張ってきた人の努力が形になっていく年」といえます。

3学期の始業式では、新年になり気持ちを新たに目標をもって努力をしてほしいこと、頑張って努力を積み重ねることにより形となって表れる年になるんだということを話しました。

皆様にとりましても、本年が成就の年になりますよう祈念するとともに、本年も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



「裏庭に咲いたろうばいの花」



## 書き初め



「緊張するなあ。」という子どもたちのつぶやきが聞こえます。

3学期が始まり、1月12日(火)から書き初めが始まりました。

体育館いっぱい

に広がり、練習してきた成果を発揮しました。半紙に書くのとは違い、大きな条幅紙にのびのびと書かなくてはなりません。二度書きはできないので、緊張しますが一人一人の個性が表れた作品ができあがりしました。

できあがった作品は、学年ごとに廊下に展示してありますので、書き初め展の期間中にぜひご覧ください。それぞれの作品から、良いところを見つけ、褒めていただければと思います。



## なわとび運動の模範演技(体育委員会)

12月14日(月)の朝会で、体育委員会がなわとびの模範演技を発表しました。

1月に入り、なわとびに汗を流す子がいっぱいいます。寒い日が続きますが、冬場の体力づくりに、全校でなわとびに取り組んでいます。



## 1年学年発表(おむすびころりん)

12月15日(火)の長昼休みに、1年生の学年発表「おむすびころりん」が行われました。

可愛いかぶり物をかぶって、役になりきって演技ができました。間に歌を入れながら、楽しい発表になりました。保護者の方々もたくさん応援に来てくださり、最後はみんなから大きな拍手をいただきました。



# 行事予定

1月	18日(月)	朝会 1年「昔の遊びの会」長寿会来校 書き初め展 21日まで(鑑賞時間 15:00-16:00)
	20日(水)	学校一日開放 (公開時間 8:45-12:00 13:20-14:35)
	21日(木)	職員登校指導 縄跳び運動
	22日(金)	6年尺八・琴体験授業 集団下校訓練
	25日(月)	児童朝会
	26日(火)	短縮日課 4校時(研究会のため)
	27日(水)	読み聞かせ クラブ活動(将棋名人来校) ありまっ子応援団運営委員会
	29日(金)	新1年保護者説明会



「地域の方に頂いた校庭の“葉ボタン”」

## ありまの歴史 14



「旧有馬村役場」

### 昭和の頃の子どもたち(二)

— 百年周年記念誌より —

学芸会は毎年3月3日に行われ、劇や歌などを発表しましたが、主役はいつも同じ人で、目立つ人になっていました。

卒業式は、3教室の壁を抜いて大広間にして行いました。卒業証書には、何々村、平民氏名と書いてあり、代表者が受け取る形でした。卒業式の歌は、1番は在校生、2番を卒業生、3番は全員で歌いました。

四代節(しだいせつ: 旧制度の四つの祭日; 四方拝 1, 1、紀元節2, 11、天長節4, 29、明治節11, 3)は、奉安殿の前で行いました。その頃も、有馬は九割くらいが

農家で、そのほとんどが年貢を地主さんに納める小作人でした。

養蚕が盛んで、ほとんどの家で行っていました。5, 6年の子どもたちは、学校から帰ると桑の葉を取りに行き、蚕と一緒に寝て夜中でも蚕のフンの始末をしました。子どものお弁当は、麦と梅干しの日の丸弁当で、弁当箱もアルミ製の弁当箱があればよい方でした。

## 4校支援級合同レクリエーション(於; 社家小)



12月16日(水)、社家小で4校支援級合同クリスマス会(有馬中、有馬小、社家小、門沢橋小)が行われました。

長い道のりを先生と一緒にがんばって歩き通し、無事に目的地の社家小学校に到着。練習してきた出し物をそれぞれ披露し、ゲームで楽しみながら、4校の交流を深めました。優しい声をかけ合ったり、一緒に遊んだりしながら、学校は違うけれども、仲のよい友だちとしてよい時間を過ごすことができました。

特に、有馬中学校の生徒さんは小学生に優しく接してくれて、お

兄さんお姉さんとしての心のゆとりが感じられました。

「がんばったね。」

お兄さんお姉さんの優しい言葉に、みんなは励まされ最後までがんばることができました。

帰りも来た道をみんなで歩き通し、無事に有馬小に着きました。小中一貫教育の大切な取り組みのひとつです。それぞれの学校の良さを学び、それをこれからの様々な活動に生かすことができればと思います。



